

## 知的財産侵害物品の輸入差止件数が過去最多！

～令和元年上半期の横浜税関における知的財産侵害物品の差止状況～

令和元年上半期（平成 31 年 1 月～令和元年 6 月）の横浜税関における偽ブランド品などの知的財産侵害物品の差止状況をまとめましたのでお知らせします。

全体：輸入差止件数は過去最多を更新、輸入差止点数は 3 万点を超える

- ・ 輸入差止件数は 4,497 件で、上半期の輸入差止件数としては過去最多を更新しました。
- ・ 輸入差止点数は 36,789 点で、5 年ぶりに 3 万点を超えました。

仕出国（地域）別：中国からの輸入差止件数が全体の 90%超え

- ・ 仕出国（地域）別では依然として中国が大多数を占め、輸入差止件数で全体の 90.2%（4,056 件）、点数で全体の 64.3%（23,650 点）を占めています。
- ・ 仕出国（地域）別の輸入差止点数では、香港が前年同期と比べて約 42 倍（10,040 点）と、大幅に増加しました。

知的財産別：偽ブランド品などの商標権侵害物品の輸入差止点数が引き続き最多

- ・ 知的財産別では、偽ブランド品などの商標権侵害物品が輸入差止件数・点数ともに最多となっており、輸入差止件数が全体の 99.7%（4,485 件）、輸入差止点数が全体の 98.4%（36,184 点）を占めています。

品目別：医薬品の輸入差止件数、点数が大幅増加

健康や安全を脅かす危険性のある知的財産侵害物品が引き続き散見

- ・ 品目別にみると、前年同期と比べて医薬品の輸入差止件数が約 40 倍、点数が約 25 倍となり、大幅に増加しました。
- ・ 使用することにより健康や安全を脅かす危険性のある、医薬品、運動用具などの知的財産侵害物品の輸入差止めが引き続き散見されています。

## 令和元年上半期の横浜税関における知的財産侵害物品の差止状況（詳細）

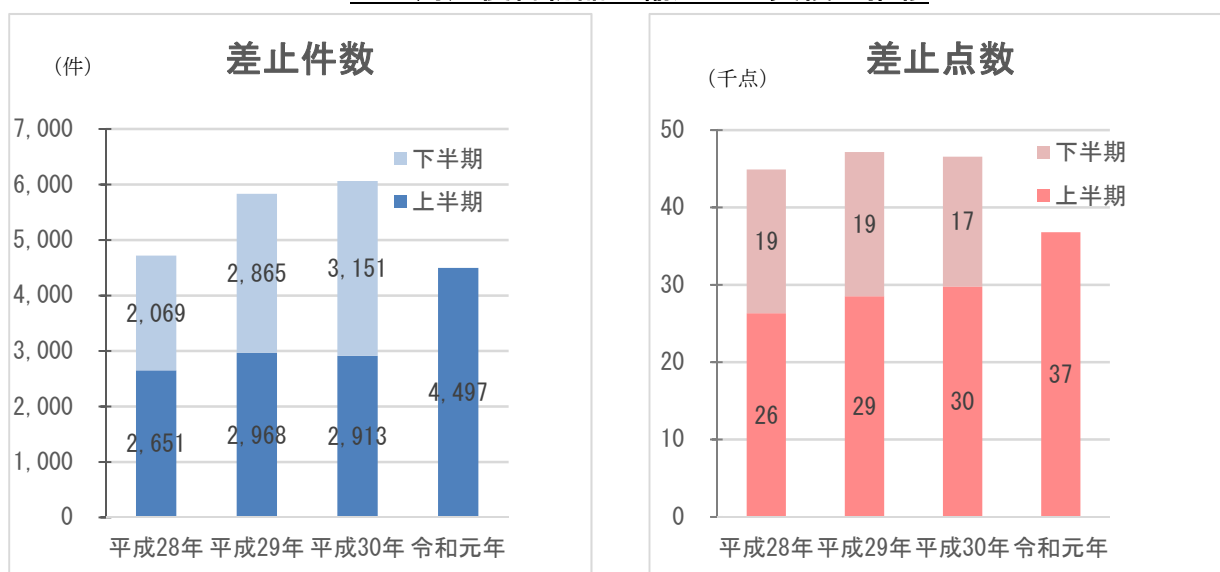
- ◆ 輸入差止件数は 4,497 件（前年同期比 54.4%増）で、上半期の輸入差止件数としては過去最多でした。
- ◆ 輸入差止点数は 36,789 点（前年同期比 23.5%増）で、引き続き増加傾向にあります。
- ◆ 一般貨物の差止点数は 17,920 点で、前年より大幅に増加（前年同期の 2.5 倍）しています。
- ◆ 川崎外郵出張所での国際郵便物における差止件数が 4,483 件で、前年より大幅に増加（前年同期の約 1.5 倍）しています。
- ◆ 1 日平均で 24 件、203 点の知的財産侵害物品の輸入を差し止めていることとなります。

（注）「輸入差止件数」は、税関が差し止めた知的財産侵害物品が含まれていた輸入申告又は郵便物の数です。

「輸入差止点数」は、税関が差し止めた知的財産侵害物品の数です。

（例）1 件の輸入申告又は郵便物に 20 点の知的財産侵害物品が含まれていた場合、「1 件、20 点」として計上しています。

### 知的財産侵害物品の輸入差止実績の推移



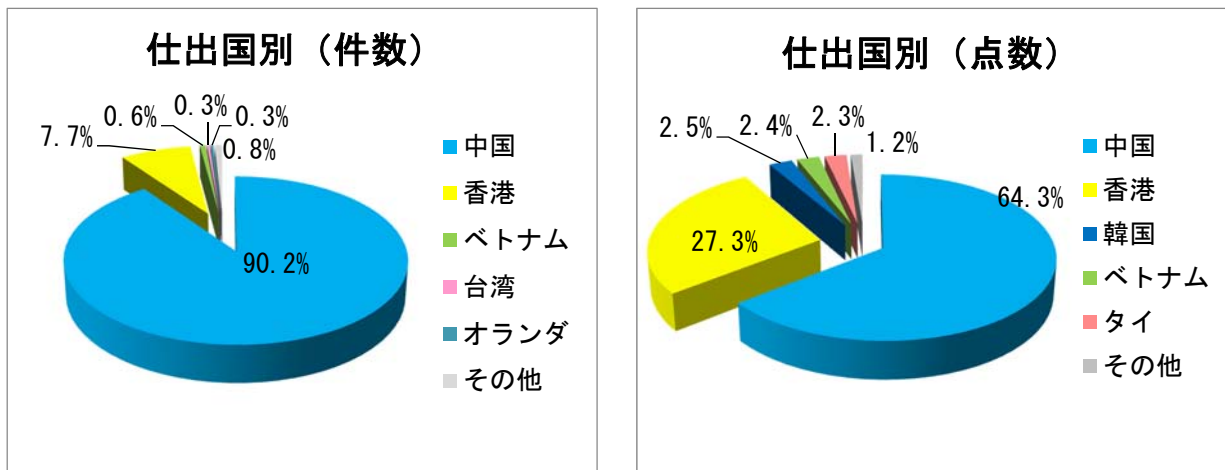
### <参考：全国実績との比較>

		平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 30 年 上半期	令和元年 上半期	前年 同期比
横浜 実績	件数	4,720	5,833	6,064	2,913	4,497	154.4%
	点数	44,897	47,160	46,558	29,793	36,789	123.5%
全国 実績	件数	26,034	30,627	26,005	13,833	12,844	92.9%
	点数	622,665	506,750	929,675	673,404	577,534	85.8%

## 1. 仕出国（地域）別輸入差止実績

- ◆ 輸入差止件数は、中国を仕出しとするものが4,056件（構成比90.2%）、次いで香港が347件（同7.7%）、ベトナムが29件（同0.6%）と続いています。
- ◆ 輸入差止点数は、中国を仕出しとするものが23,650点（構成比64.3%）、次いで香港が10,040点（同27.3%）、韓国が915点（同2.5%）と続いています。
- ◆ 中国については、全国実績でも知的財産侵害物品の仕出国として一極化への進展が窺われるところ、横浜税関においても同様に中国が最も多い状況となっています。

### 仕出国（地域）別輸入差止実績構成比

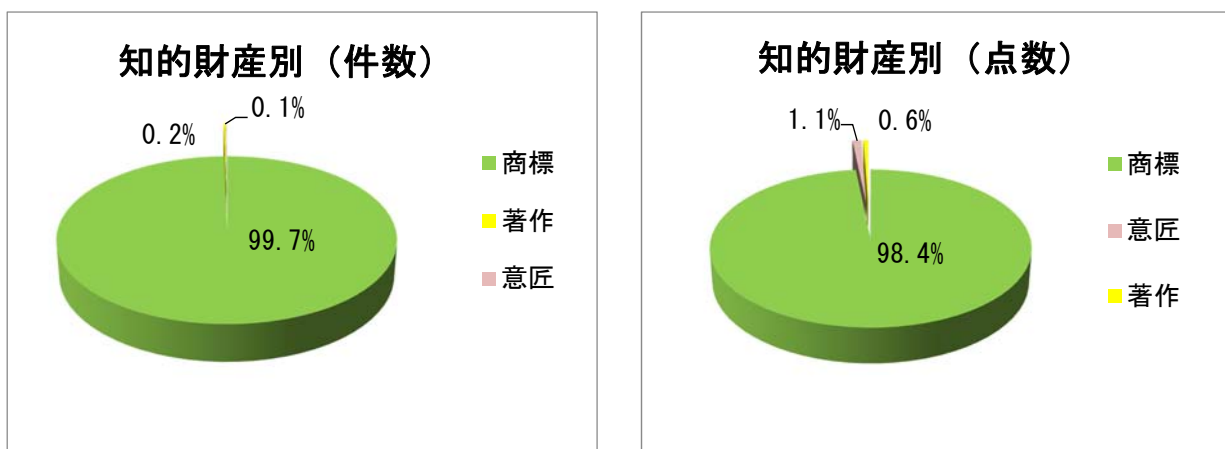


（注）四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

## 2. 知的財産別輸入差止実績

- ◆ 輸入差止件数は、偽ブランド品などの商標権侵害物品が4,485件（構成比99.7%）で、全体の大半を占め、次いで著作権侵害物品が10件（同0.2%）となっています。
- ◆ 輸入差止点数についても、商標権侵害物品が36,184点（構成比98.4%）で、件数と同様に大半を占める傾向は変わらず、次いで意匠権侵害物品が400点（同1.1%）となっています。

### 知的財産別輸入差止実績構成比



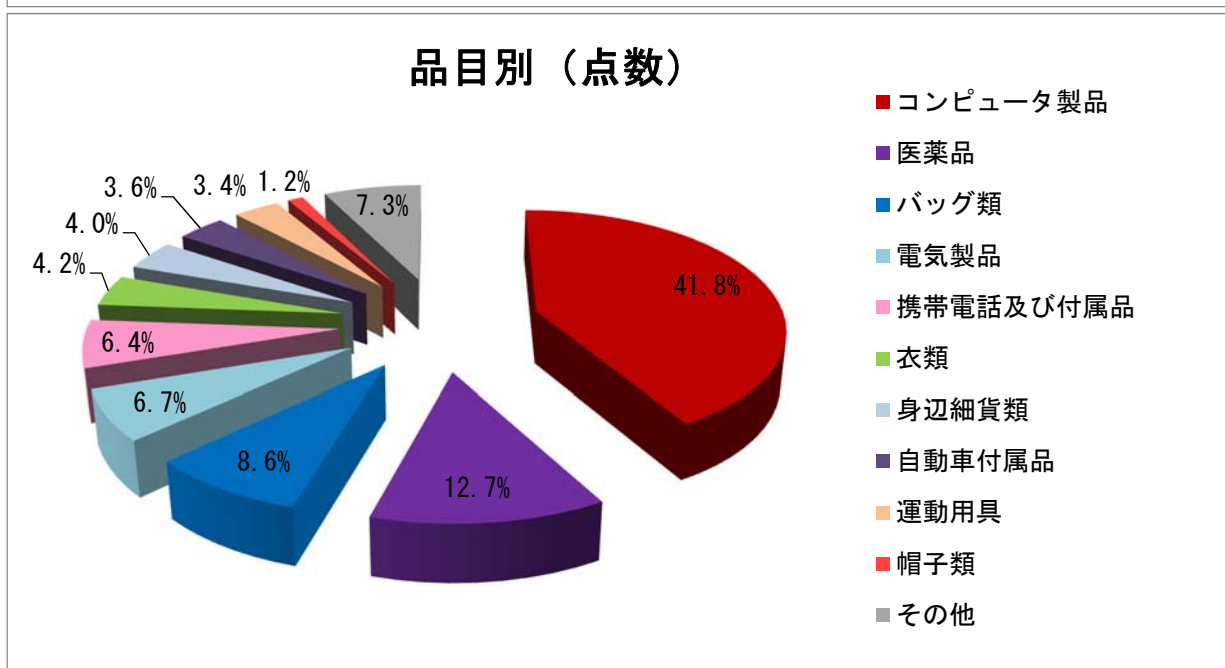
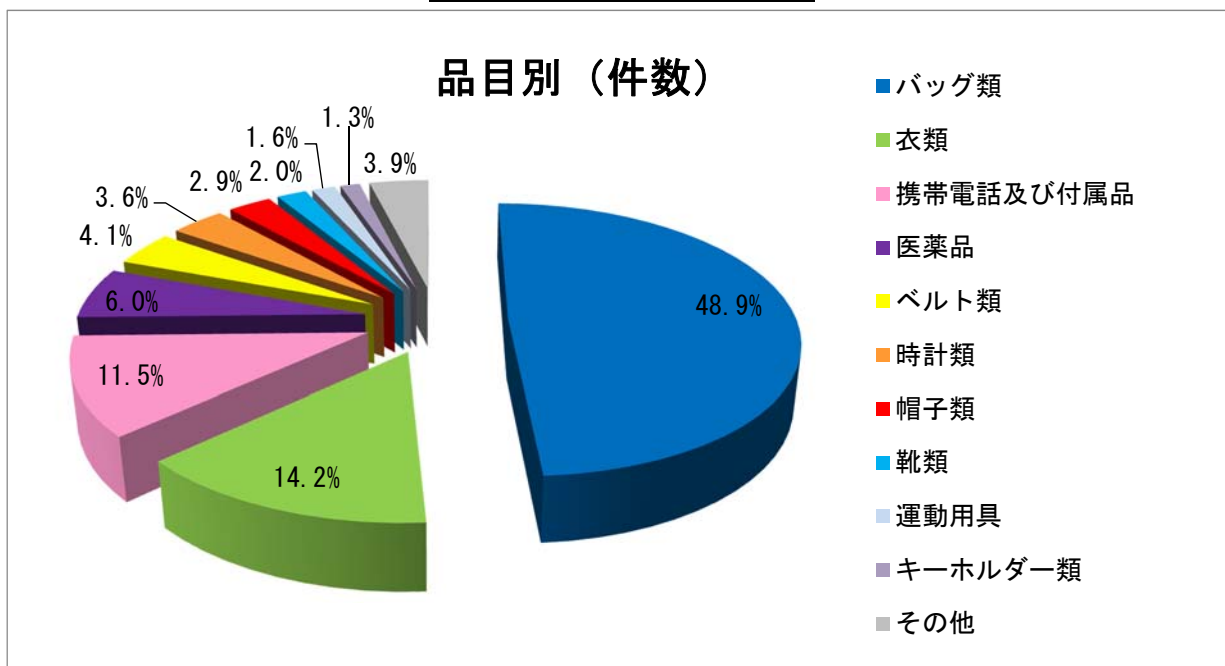
（注1） 1事案で複数の知的財産侵害に当たる場合、それぞれの知的財産に件数計上されるため、知的財産ごとの合計件数は差止件数の合計件数と一致しません。

（注2） 四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

### 3. 品目別輸入差止実績

- ◆ 輸入差止件数は、バッグ類が 2,282 件（構成比 48.9%）と最も多く、次いで衣類が 661 件（同 14.2%）、携帯電話及び付属品が 537 件（同 11.5%）となっています。前年同期と比べて、医薬品の輸入差止件数が大幅に増加しています（約 40 倍）。
- ◆ 輸入差止点数は、コンピュータ製品が 15,389 点（構成比 41.8%）、次いで医薬品が 4,655 点（同 12.7%）、バッグ類が 3,167 点（同 8.6%）となっています。前年同期と比べて、上位 3 品目はいずれも輸入差止点数が増加しています。

品目別輸入差止実績構成比



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%にならない場合があります。

## 横浜税関で輸入を差止めた侵害品の例

### 輸入差止めが多い物品

バッグ類 (商標権)	衣類 (商標権)	携帯電話及び付属品 (著作権)
		
(ハンドバッグ)	(コート)	(スマートフォンケース)

ベルト類 (商標権)	時計類 (商標権)	帽子類 (商標権)
		
(ベルト)	(腕時計)	(帽子)

### 健康や安全を脅かす危険性のある物品

医薬品 (商標権)	眼鏡類 (商標権)	運動用具 (商標権)
		
(ED治療薬)	(サングラス)	(ゴルフグリップ)

## 令和元年上半期の横浜税関における知的財産侵害物品の差止状況(資料)

### 1. 仕出国(地域)別輸入差止実績

#### (1) 件数

	平成28年	平成29年	平成30年	平成30年 上半期	令和元年 上半期	前年 同期比	構成比
中国	4,179	5,184	5,506	2,630	4,056	154.2%	90.2%
香港	254	336	255	130	347	266.9%	7.7%
ベトナム	4	2	41	11	29	263.6%	0.6%
台湾	6	9	18	10	15	150.0%	0.3%
オランダ	28	2	43	3	13	433.3%	0.3%
その他	249	300	201	129	37	28.7%	0.8%
合計	4,720	5,833	6,064	2,913	4,497	154.4%	100.0%

(注1) 本表は仕出国(地域)ベースであり、原産国(地域)を示すものではありません。

(注2) 四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

#### (2) 点数

	平成28年	平成29年	平成30年	平成30年 上半期	令和元年 上半期	前年 同期比	構成比
中国	36,292	40,069	35,177	21,768	23,650	108.6%	64.3%
香港	2,997	1,859	1,282	235	10,040	4272.3%	27.3%
韓国	1,997	892	718	338	915	270.7%	2.5%
ベトナム	53	15	2,871	1,980	870	43.9%	2.4%
タイ	772	1,203	5,109	4,712	856	18.2%	2.3%
その他	2,786	3,122	1,401	760	458	60.3%	1.2%
合計	44,897	47,160	46,558	29,793	36,789	123.5%	100.0%

(注1) 本表は仕出国(地域)ベースであり、原産国(地域)を示すものではありません。

(注2) 四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

## 2. 知的財産別輸入差止実績

上段:件数

下段:点数

	平成28年	平成29年	平成30年	平成30年 上半期	令和元年 上半期	前年 同期比	構成比
特許権	2	1	1	1	0	全減	0.0%
	110	2,100	60	60	0	全減	0.0%
意匠権	1	22	35	21	3	14.3%	0.1%
	17	7,829	974	387	400	103.4%	1.1%
商標権	4,710	5,800	5,982	2,861	4,485	156.8%	99.7%
	44,659	34,416	44,474	28,474	36,184	127.1%	98.4%
著作権	11	18	53	33	10	30.3%	0.2%
	111	2,815	1,049	871	205	23.5%	0.6%
著作隣接権	0	0	0	0	0	—	—
	0	0	0	0	0	—	—
育成者権	0	0	0	0	0	—	—
	0	0	0	0	0	—	—
不正競争防止法	0	0	1	1	0	全減	0.0%
	0	0	1	1	0	全減	0.0%
合計	4,720	5,833	6,064	2,913	4,497	154.4%	100.0%
	44,897	47,160	46,558	29,793	36,789	123.5%	100.0%

(注1) 1事案で複数の知的財産侵害に当たる場合、件数についてはそれぞれの知的財産に、点数については表中上位の知的財産のみに計上しています。従って、知的財産ごとの件数の合計と合計欄の件数は一致しません。なお、構成比は権利ごとの数の合計(のべ数)をもとに算出しています。

(注2) 四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

(注3) 各権利で保護されているものは、例えば以下のものです。

特許権:特許法に基づき特許登録された「発明」

意匠権:意匠法に基づき意匠登録された物品の形状、模様等の「デザイン」

商標権:商標法に基づき商標登録された文字、図形等の「ロゴマークやブランド名」

著作権:創作されたキャラクターや音楽CD等の「著作物」(著作隣接権と共に著作権法で保護)

著作隣接権:レコード会社により製作された「音楽CD(日本での販売が禁止されている海外版音楽CDを取締り)」

育成者権:種苗法に基づき品種登録された「植物の新品種」

不正競争防止法で輸入が規制されているものは、例えば以下のものです。

・広く認識されている他人の「商品等表示」との混同を生じさせるもの

・著名な他人の「商品等表示」を使用するもの

・他人の商品の形態を模倣するもの

・「営業秘密」として管理されている秘密情報の不正使用により生じたもの

・技術的に制限されているプログラムの実行を可能とする装置

(例:ゲーム機器において本来は使用することができない海賊版ソフトを使用できるようにする装置)

税関では、各権利を侵害するもの及び不正競争防止法で規制されているものを輸入してはならない貨物として、取締りを行っています。

### 3. 品目別輸入差止実績

#### (1) 件数

	平成28年	平成29年	平成30年	平成30年 上半期	令和元年 上半期	前年 同期比	構成比
バッグ類	1,201	1,675	3,188	1,384	2,282	164.9%	48.9%
衣類	113	177	391	193	661	342.5%	14.2%
携帯電話及び付属品	2,005	1,655	896	573	537	93.7%	11.5%
医薬品	102	61	58	7	281	4014.3%	6.0%
ベルト類	36	63	69	35	192	548.6%	4.1%
時計類	100	267	268	129	168	130.2%	3.6%
帽子類	52	120	65	21	134	638.1%	2.9%
靴類	782	970	735	375	92	24.5%	2.0%
運動用具	21	150	129	29	73	251.7%	1.6%
キーホルダー類	56	86	115	51	60	117.6%	1.3%
その他	517	897	617	350	182	52.0%	3.9%
合計	4,720	5,833	6,064	2,913	4,497	154.4%	100.0%

(注1) 1事案で複数の品目を含んだものがある場合、それぞれに計上するため品目ごとの件数の合計と合計欄の件数は一致しません。なお、構成比は品目ごとの件数の合計(のべ件数)をもとに算出しています。

(注2) 四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

#### (2) 点数

	平成28年	平成29年	平成30年	平成30年 上半期	令和元年 上半期	前年 同期比	構成比
コンピュータ製品	947	2,505	5,503	5,363	15,389	286.9%	41.8%
医薬品	2,849	2,872	1,775	180	4,655	2586.1%	12.7%
バッグ類	5,577	3,307	4,880	2,260	3,167	140.1%	8.6%
電気製品	3,249	6,245	2,920	1,819	2,480	136.3%	6.7%
携帯電話及び付属品	6,154	9,157	4,209	2,082	2,349	112.8%	6.4%
衣類	1,055	5,439	2,804	887	1,530	172.5%	4.2%
身辺細貨類	1,884	1,118	2,953	1,617	1,488	92.0%	4.0%
自動車付属品	1,431	1,853	7,875	6,459	1,333	20.6%	3.6%
運動用具	775	2,936	1,772	344	1,269	368.9%	3.4%
帽子類	204	863	469	92	429	466.3%	1.2%
その他	20,772	10,865	11,398	8,690	2,700	31.1%	7.3%
合計	44,897	47,160	46,558	29,793	36,789	123.5%	100.0%

(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。



#### 4. 輸送形態別輸入差止実績

上段:件数  
下段:点数

	平成28年	平成29年	平成30年	平成30年 上半期	令和元年 上半期	前年 同期比	構成比
一般貨物	23	13	10	7	14	200.0%	0.3%
	8,571	14,593	8,566	7,155	17,920	250.5%	48.7%
郵便物	4,697	5,820	6,054	2,906	4,483	154.3%	99.7%
	36,326	32,567	37,992	22,638	18,869	83.4%	51.3%
合計	4,720	5,833	6,064	2,913	4,497	154.4%	100.0%
	44,897	47,160	46,558	29,793	36,789	123.5%	100.0%

#### 5. 知的財産別輸出差止実績

令和元年上半期において、輸出差止実績はありませんでした。

### 《 資料に関する問い合わせ先 》

横浜税関 業務部 知的財産調査官  
〒 231-0023 横浜市中区山下町279-1  
TEL 045-212-6116(直通)

横浜税関ホームページ <http://www.customs.go.jp/yokohama/>  
税関ホームページ <http://www.customs.go.jp>

※本資料を他に転載する場合には、横浜税関の資料による旨を必ず注記してください。